

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターいるか かせだ			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～	令和7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月9日		～	令和7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月26 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな発達の特徴に捉われず、色々な利用児と触れ合い、共に関わる経験が持てる事。	一人ひとり、発達の違いや特性があるため、その子に応じた支援を提供している。また、安全面を考慮しながら、動きの同線を考えたりし、同じ空間で過ごせる環境を工夫している。	みんなで楽しさを共有できるようにし、「また、一緒にあそびたい」の気持ちなど大切にし、活動に取り組みやすいようにしたい。
2	固定化しない充実した活動プログラムの提供。	活動によっては、継続性を持たせる活動もあるが、同じ活動でも、ねらいを変更するなど持続性を持たせている。また、成長にあった、活動の提供をしている。	法人内や他事業所での取り組みの情報収集し、新しい課題や活動を充実させていきたい。
3	各関係機関との連携。担当者会議などでは、関係機関の殆どの方が参加。	利用児や保護者様の様子に変化が見られる時は、担当相談支援事業所に相談を行い、会議など開催し、情報の共有を図っている。	継続して各関係機関と連携を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	見学に来られるが利用に繋がらないことが多い。	見学時に魅力を十分に伝えきれていない。	保護者様に療育の必要性や困り感など、職員全員がアドバイスできるように、研修などに積極的に参加し職員の質を上げていきたい。
2	地域交流の機会が持てない。	地域交流できる児童館などが少ない。	地域の子どもたちと、交流ができる場所やイベントの情報を収集し、積極的に参加できるように努めたい。
3	父母の会や保護者同士のつながりが少ない。	日頃から就労されている保護者様が多く、平日に時間を取ることが難しい。	振替休日等を使い、保護者様やきょうだい児の集まれる機会を増やし交流を図りたい。色々な方と交流を深めてもらうために、法人全体で取り組んでいきたい。